

学びの領域 1年次に4つの領域を履修。学びの基礎をつくる。

幅広い視点から「日本史」を見る

史料の読解法から収集、研究を行う技術まで、ステップアップしながら学修。複数のテーマを扱い、歴史を幅広い視点から捉えます。

🔑 # 近現代の政治史 # 有職故実 # 中世の生活史
近世村落史 # 近世教育社会史

原典史料をもとに「東洋史」を学ぶ

特に原典史料に触れることを重視。出土文献・出版文化史・東アジア文化交流史を中心に、多様な地域の歴史も研究できます。

🔑 # 中国 # 朝鮮半島 # イスラム # 中央アジア
原典史料 # 出版文化史

「西洋史」を多角的に学修

ヨーロッパ・アメリカの歴史について多角的に迫り、新しい観点探究。ジェンダー・出産・身体等の視点からも歴史を考えます。

🔑 # フランス近世史 # 社会史 # 家族史
ジェンダー史

現地調査で「考古学」を深める

先史時代から文字史料の存在する歴史時代まで、多様な遺跡・遺物を研究。実地調査を重視します。

🔑 # 歴史考古学 # 宗教考古学 # 実地調査
考古学実習 # 石造物

学びの流れ “情報を読み解く力”と“伝える力”を修得。

卒業基準単位数:124
教養的科目:22
専門科目:102

※2025年4月1日入学費の場合。

	1 歴史学の考え方、 基礎を修得	2 4つの領域から 専門を決定	3 演習をとおして 論文作成力を修得	4 学修の総括である 卒業論文を完成
必修科目	- 学修の基礎 - 基礎英語 1・2 - 基礎ゼミナール - コンピュータ情報処理の基礎			卒業論文
選択必修科目	- 日本史料講読 1・2・3・4 - 東洋史料講読 1・2 - 西洋史料講読 1・2 - 考古史料講読 1・2 - 日本史研究法 - 東洋史研究法 - 西洋史研究法 - 考古学研究法	- 日本史基礎演習 1・2 - 東洋史基礎演習 1・2 - 考古史基礎演習 1・2 - 西洋史基礎演習 1・2 - 考古学基礎演習 1・2	- 日本史演習 1・2 - 東洋史演習 1・2 - 西洋史演習 1・2 - 考古学演習 1・2	- 日本史演習 3・4 - 東洋史演習 3・4 - 西洋史演習 3・4 - 考古学演習 3・4
選択科目	- 日本史概説 1・2・3・4 - 東洋史概説 1・2・3・4 - 西洋史概説 1・2・3・4 - 考古学概説 1・2・3・4	- 日本史特講 1～20 - 東洋史特講 1～16 - 西洋史特講 1～16 - 考古学特講 1～16 - 近代日本社会・経済史 - ヨーロッパ社会・経済史	- 日本思想・宗教史 - アジア思想・宗教史 - 古文書学 1・2 - 歴史地理学 1・2	- 日本史料研究 1・2 - 東洋史料研究 1・2 - 西洋史料研究 1・2 - 考古史料研究 1・2
	考古学実習 1・2	考古学実習 3・4・5	考古学実習 6	
		- 古文書学実習 1・2・3・4 - 民俗学 1・2 - 美術史 1・2		

※学部間相互履修制度がある学部もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。 ※カリキュラムは変更される場合があります。

授業

Focus on

日本史特講1

有職故実という歴史学の基礎学の視点から、平安貴族の女性の装いについて考察し、日本の朝廷貴族社会を深く考えるヒントを学びます。

西洋史料研究2

外国語で書かれた研究文献に親しむため、英語の研究文献を講読します。19、20世紀のドイツ、ヨーロッパ史全体のとらえ方に関わる文献を扱います。

考古学実習3

遺構測量、写真撮影、3次元計測等、考古資料の記録方法の基礎を学び、野外実習に向けて知識と技術を修得します。

■時間割モデル

(3年次第2期 教職・学芸員資格取得希望者)

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1			東洋史	考古学		社会学、公民教育論
2		社会学教育論	情報学・展示論	自然地理学・環境		
3		考古学演習	考古学特講Ⅰ			考古学実習
4	社会学・地理歴史・教育史	考古学特講Ⅱ	博物館・情報・メディア学	教育演習	考古資料研究	
5	人と生活の文化		心理学概論			
6						

■卒業論文テーマ

- 平安時代における都市と病
- 蒙古襲来以前の外交
- 近世後期における女性の江ノ島参詣
- 明治初期の太政官制
- 曹操の軍編成と都督制
- 安史の乱における周辺諸国の動向
- 明代の内閣政治と宦官
- ロンドン大火と反カトリック
- 19世紀フランスにおける上流階級女性のドレス
- 関東地方における横穴式石室の展開
- 古代の山岳寺院

ほか

進路・就職 綿密な調査・研究に取り組み他者に伝える。

歴史を多面的に学び、そこから現在を相対化し、未来を考える力につなげます。

学科で身につく力

- 1 史料に基づいて調査・研究を行い、過去の世界を多面的に見る力
- 2 多くの分析や発表の場で培われる“伝える”プレゼンテーション力
- 3 教員免許、博物館学芸員資格を取得するための知識・スキル

■資格・免許

詳しくは P.128へ

【教員免許】

中学校教諭一種免許状（社会）
高等学校教諭一種免許状（地理歴史）
高等学校教諭一種免許状（公民）
学校図書館司書教諭（任用資格）

【専門職】

博物館学芸員（任用資格）
図書館司書

【行政職】

社会教育主事（任用資格）
社会福祉主事（任用資格）

合格・取得サポート講座

- 実用英語技能検定 ●TOEIC®TEST
 - ドイツ語技能検定試験 ●実用フランス語技能検定試験 ●中国語検定試験
 - ハンガール能力検定試験
- 〔関連科目〕基礎英語／実践英語／ドイツ語／フランス語／中国語／ハンガール

■進路・将来像

中学校社会科教諭
高等学校地理歴史教科教諭
高等学校公民科教諭
博物館学芸員
学校図書館司書教諭
図書館司書
研究機関研究員
官公庁

各種公務員
社会教育主事
社会福祉主事
民間企業全般 等

Topics

歴史にじかに触れに行く 「古文書学実習」

昔の人びとが書いた古文書を整理、解読し、歴史を肌で感じながら学びます。東京近郊の博物館や図書館等へ積極的に足を運び、歴史や史料を自分の目で見て体感する学びを重視し、歴史への探究意欲を高めています。



■主な進路

坂橋区役所、大田区役所、箱根町役場、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、茨城県商工会連合会、千葉県国民健康保険団体連合会、日本通運株式会社、東都観光バス株式会社、株式会社図書館流通センター、日本情報通信株式会社、株式会社学情、東京電工株式会社、生活協同組合コープみらい、株式会社東京商工リサーチ、株式会社NTTデータエマース、株式会社武蔵野 ほか

